

都市学科

総合型選抜 Q & A

Q1 なぜ総合型選抜を行うのか？

都市学科では、未来の持続可能社会の中で求められる都市基盤や都市機能、環境の姿を創出するとともに、そのような都市を実現するためのグローバルな視野を持ち、多面的に物事を捉えることができるプランナーとエンジニアの育成を目指しており、その人物像に合致した能力・適性・意欲の高い学生を求めています。

都市学科では 2022 年度入試から「総合型選抜」を開始しました。総合型選抜は、特に思考力・判断力・表現力および主体的に学ぶ力を重視した評価により、優れた資質を持った受験生を選抜しようとするものです。

このことにより、一般選抜では十分に能力が評価できない優れた適性や高い意欲を持った受験生を選抜できると考えています。

Q2 どのような選抜方法なのか？

第1次選考では、出願書類（調査書、志望理由書、自己アピール書）の内容に基づき、口述試験によって都市学科に関係する分野の学問・研究・諸問題に対する興味・関心、思考力・判断力・表現力および主体的に学ぶ力などに重点を置いた評価をします。

なお、志願者数が募集人員の2倍を超えた場合、第1次選考に先立ち、出願書類による選考を実施することがあります。その場合、出願書類による選考の合格者のみが口述試験を受験することができます。

第2次選考では、受験者が工学部および都市学科のアドミッション・ポリシーに適した基礎学力を有するかどうかを大学入学共通テストの成績によって評価します。

Q3 出願書類（調査書・志望理由書・自己アピール書）はどのように評価されるのか？

提出いただいた出願書類は第1次選考の評価に使用し、出願書類による選考を実施する場合は入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

調査書により高等学校等での学習成績および学習の範囲を把握し、志望理由書と自己アピール書により都市学科に関連する学問分野に対する興味・関心や、入学後の学習意欲、思考力・判断力・表現力等を評価します。

Q4 受験のためにどのような準備をすれば良いのか？

第1次選考では、出願書類（調査書、志望理由書、自己アピール書）の記載内容に基づき、個別に口述試験を行い、思考力・判断力・表現力および主体的に学ぶ力を評価します。したがって、特別な準備はありませんが、出願書類に記載した個々の内容についてわかりやすく説明し、アピールすることが必要となります。

第2次選考対策としては、大学入学共通テストにおいて本学工学部一般選抜者と同水準のスコアを獲得できるように基礎学力を高めることが必要です。前年度都市学科の合格者の大学入学共通テストの最低点以上を獲得することが第2次選考合格の目安です。

2022年度入試結果は、本学Webサイトに記載しております。

TOP>入試情報>入試結果

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/past_results.html

Q5 他の国公立大学に出願可能か？

本総合型選抜志願者は、合格しなかった場合に備えて、一般選抜志願者として、国公立大学の「前期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ、及び「公立大学中期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ、合計三つまでの大学・学部等に出願することができます。その際は大学入学共通テストの受験等志望する大学・学部の出願要件に留意してください。

なお、総合型選抜の合格者は、総合型選抜の趣旨からみて当該大学に入学手続きを行い、入学することになります。総合型選抜で不合格、または本学の定める手続きにより入学を辞退した場合に限り、前期・公立大学中期・後期日程試験の判定対象者となることができます。

都市学科のアドミッション・ポリシー

1. 都市の成り立ちや機能、現状の課題について日ごろから興味・関心があり、社会全体の幸福に貢献できる人
2. 数学や理科などの自然科学分野の基礎学力を有し、それらの工学的応用について関心がある人
3. 地理や歴史、公民などの社会の基礎学力を有し、文明の汎用性と文化の固有性の双方を尊重し、学ぶことができる人
4. 継続的に外国語を学ぶことができる人。また、入学後に日本語または英語による講義が受講可能であり、外国語資料の読解および英語での交流・発表に意欲のある人
5. 都市に関わる問題について、対立する意見を公正に評価し、複合的な問題について多面的にとらえ、科学的根拠に基づきながら自身の意見を述べる人